

## 日向市地域公共交通計画作成業務委託 業務計画書

### 1. 業務目的

日向市の公共交通は、利用者の減少に伴う路線バスの廃止や減便が行われ、高齢者や学生など交通弱者の交通手段の確保は重要な課題となっている。路線バスが運行されていない交通空白地域にはぶらっとバスなどの市民バスを日向市主体で運行しているものの、コロナ禍や人口減少による利用者減少や運行維持費の負担増加など、見直すべき課題も抱えている。

これら課題を解決するために、現行の「日向市地域公共交通網形成計画（平成 28 年 3 月日向・東臼杵地域公共交通活性化協議会策定）」や「交通政策基本計画（令和 3 年 5 月 28 日閣議決定）」の内容を踏まえ、地域の特性に応じた生活交通の確保を推進するとともに、MaaS(Mobility as a Service)などの新たなモビリティサービスの活用も視野に入れた持続可能な公共交通ネットワークの構築を図る公共交通のマスタープランとなる本計画の作成を本業務の目的とする。

### 2. 対象区域

日向市全域

### 3. 計画期間

令和 5 年度から令和 9 年度までの 5 年間

### 4. 業務委託期間

令和 4 年 8 月 5 日から令和 5 年 3 月 17 日まで

### 5. 業務内容

#### (1) 地域内の公共交通等に関する現状把握

##### ① 地域特性・社会動態の整理

項目		調査内容
基礎的データ	人口・世帯数	・人口・小地域別人口、年齢 3 区分、世帯数、将来人口、DID 人口 ・人口密度、人口増減率、高齢化率 ・高齢者独居世帯の把握（GIS の活用）
	交通利用特性	・通勤通学流動（国勢調査）、代表交通手段及び端末交通手段構成 ・自動車登録台数、運転免許保有状況、免許返納状況
	施設立地・生活圏	・都市基盤整備状況、整備スケジュール ・生活利便施設立地と徒歩圏域、バス停からの距離（GIS の活用）
活用資料		・国勢調査、市統計、住民基本台帳、総合計画、都市計画マスタープラン、立地適正化計画、東郷地域振興計画 等
庁内関係課ヒアリング		・各分野における移動に係る現状及び計画について、事業内容や予算執行内容、スケジュール 等

②地域輸送資源の現状分析

項目	調査内容
公共交通の現況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 運行ルート、運行本数、運賃、利用状況、運行収支・行政負担額、バリアフリー対応 等</li> <li>・ 既存バス乗降データ分析（OD 特性、区間別利用者、通過人員等）</li> <li>・ 民間無料送迎バス、外出支援サービス・福祉タクシー、スクールバス等の実態把握</li> <li>・ 鉄道とバス交通の接続状況の検証</li> </ul>

③関連計画の整理、分析

■地域公共交通計画の法定の記載事項

＜記載事項＞

- ①地域旅客運送サービスの持続可能な提供の確保に資する地域公共交通の活性化及び再生の推進に関する基本的な方針
- ②計画の区域 ③計画の目標（利用者数、収支、財政負担額等について定量的な目標を設定するよう努める）
- ④目標を達成するために行う事業・実施主体 ⑤計画の達成状況の評価に関する事項
- ⑥計画期間 ⑦その他計画の実施に関し地方公共団体が必要と認める事項

＜記載に努める事項＞

- ①計画に定められた目標を達成するために行う事業に必要な資金の確保に関する事項
- ②都市機能の増進に必要な施設の立地の適正化に関する施策との連携に関する事項
- ③観光の振興に関する施策との連携に関する事項
- ④その他、地域旅客運送サービスの持続可能な提供の確保に際し配慮すべき事項

■上位計画・関連計画を踏まえた集約型都市形成と地域公共交通の方向性（案）

	第2次日向市総合計画後期基本計画	日向市都市計画マスタープラン	日向市立地適正化計画	地域公共交通の方向性
拠点形成・機能誘導	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 地域活動の拠点となる地区公民館の機能強化を図る</li> <li>✓ 快適で便利な都市・生活拠点の整備</li> <li>✓ 新たな交流拠点として活用される図書館の整備について検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 固有の伝統文化産業と自然環境の調和した拠点地区の形成</li> <li>✓ 生活に必要な機能が集積した利便性の高いコンパクトなまちづくりを推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「多極ネットワーク型」のコンパクトシティを目指す</li> <li>✓ 市全体の生活を支える必要な都市機能を確保することを目的に集約を行う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 市民生活に必要な路線の維持</li> <li>■ 拠点連携軸の機能強化</li> <li>■ 広域アクセスとの接続利便性の強化</li> <li>■ 交通結節点整備によるバス停等の見直し</li> <li>■ 観光・産業を活かした交通環境の整備</li> <li>■ 地域住民主体の持続可能な公共交通整備</li> </ul>
公共交通ネットワーク・連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 二次交通の確保やキャッシュレス決済の促進</li> <li>✓ 市民バスに対するニーズを把握し、利用実態に応じた運行形態や運行経路の見直しに努める</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ ぷらっとバスの効率化と利用促進</li> <li>✓ 交通空白地域の解消</li> <li>✓ 地域拠点を結ぶ広域的な公共交通ネットワークの充実を図る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 地域密着型の地域公共交通の維持・改善</li> <li>✓ 拠点のにぎわいや市民生活を支える地域公共交通サービスの維持・拡充</li> <li>✓ 運行システムの維持</li> </ul>	

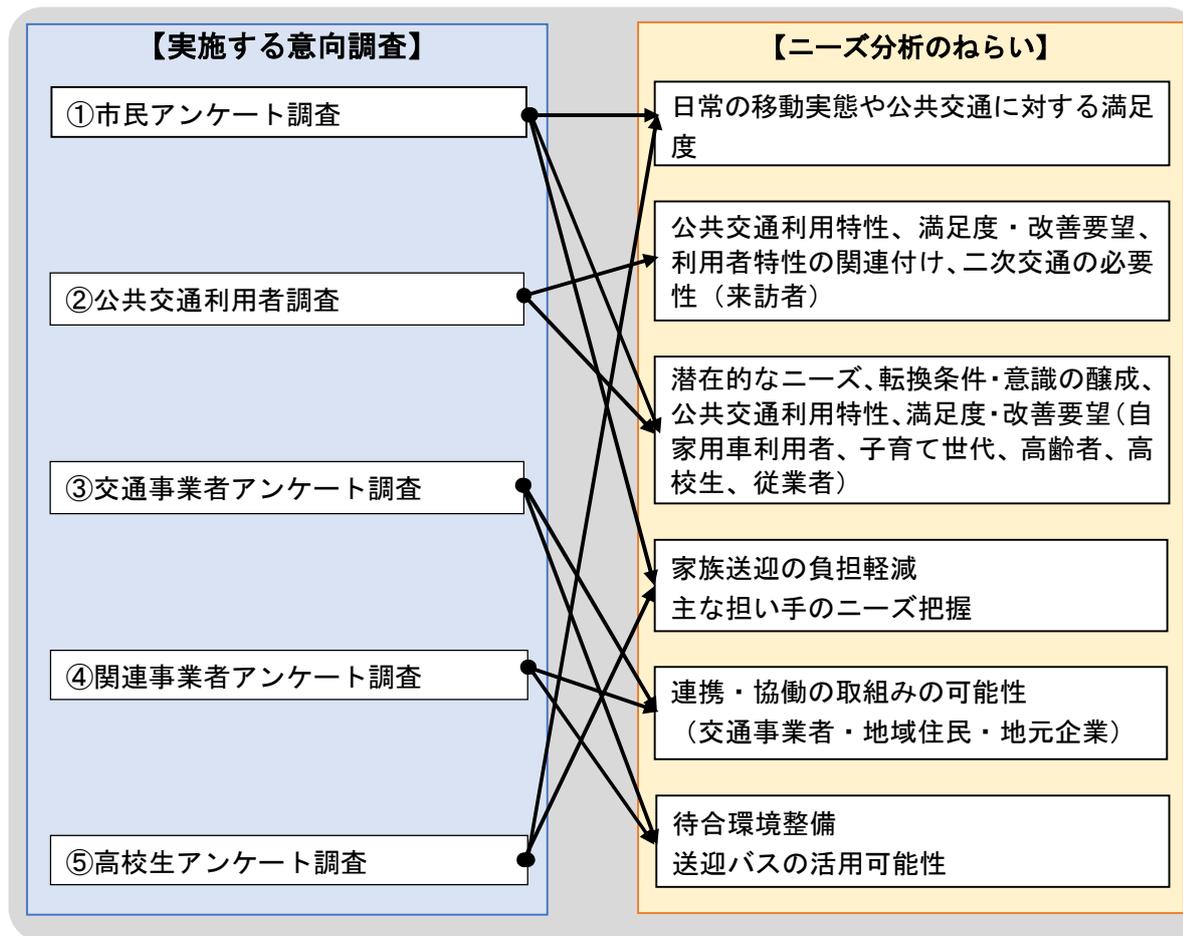
■その他関連計画

- ✓ 日向・東臼杵地域公共交通網形成計画
- ✓ 日向・東臼杵地域公共交通再編実施計画
- ✓ 日向市ポストコロナ観光戦略
- ✓ 第3次日向市地域福祉計画
- ✓ 日向市東郷地域振興計画
- ✓ 日向市過疎地域持続的発展計画
- ✓ 日向圏域定住自立圏共生ビジョン 等

■社会的留意事項

<p>【人口動態】</p> <p>少子化・人口減少 人口構成の超高齢化</p>	<p>【社会経済動向】</p> <p>環境意識の高まり グローバル化 地域経済の低迷 ニューノーマル</p>
<p>【意識の変化】</p> <p>安全・安心意識の高まり 価値観・ニーズの多様化 住民参加意識の高まり</p>	<p>【行政の変化】</p> <p>地域主権に根ざした 自立したまちづくり</p>

## (2)公共交通の利用実態、ニーズ把握調査



### ①市民アンケート調査

調査方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・18歳以上の市民3,000人（無作為抽出）</li> <li>・調査方法：郵送による配布・回収（料金受取人払い）</li> <li>・回収率40%を見込み、各地域の規模に応じて配布部数を検討</li> <li>※13小学校区別（日知屋、細島、日知屋東、平岩、美々津、寺迫、富高、塩見、財光寺、財光寺南、大王谷、東郷、坪谷）、属性別、年代別に分析</li> </ul>	
調査項目	属性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・居住地、年齢、職業、自動車保有状況</li> <li>・運転免許保有状況及び運転免許返納意向</li> </ul>
	日常生活の移動実態	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目的別（通勤通学・買物・通院・娯楽）の外出時の主な行き先</li> <li>・利用交通手段（自力・他力・他）、外出頻度</li> <li>・外出時に交通手段がなく困っていること（困っている人の割合）</li> </ul>
	生活利便施設の利用実態と意識・要望	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商業施設・医療施設の利用特性（具体的な施設名、頻度）</li> <li>・生活利便施設の利用に対する満足度</li> </ul>
	公共交通の利用実態と意識・要望	<ul style="list-style-type: none"> <li>対象：日豊本線、高速バス、路線バス、ぷらっとバス、乗合バス、乗合タクシーほそしま、タクシー</li> <li>・公共交通の利用実態と利用特性（目的、頻度）</li> <li>・公共交通の運行サービスに対する満足度、共有運賃制度</li> <li>・公共交通の利用意向（行きたい場所、目的、頻度、利用時間帯）</li> <li>・環境意識の確認、自動車からの転換可能性（TFP手法の活用）</li> </ul>
公共交通の維持・確保意向	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共交通の取組みの方向性、公共交通を維持・充実するための方法</li> <li>・効果的な公共交通の利用促進策</li> </ul>	

## ②公共交通利用者調査

調査方法	市民バス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全路線対象（平日3日）</li> <li>・調査員がバス車両に乗り、調査票を配布・回収（始発～終発）</li> <li>火曜日：乗合バスとうごう（仲深坪谷越表線、鶴野内迫野内八重原線）、乗合バスなんぶ（寺迫庭田線）</li> <li>水曜日：ぷらっとバス、南部ぷらっとバス</li> <li>乗合バスとうごう（田野羽坂線、福瀬小野田線）、乗合バスなんぶ（飯谷田の原線）</li> <li>木曜日：乗合バスとうごう（仲深坪谷線）、乗合バスなんぶ（鶴毛粗木線）</li> <li>※その場で答えやすいビンゴ形式調査票の活用</li> <li>※乗合タクシーほそしまは、車内でアンケート配布・後日郵送回収</li> </ul>
	路線バス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3路線（延岡ーイオンタウン日向線、宇納間・小原線、椎葉・塚原・神門・池野線）（平日1日）</li> <li>・調査員がバス待ち利用者・来訪者に直接ヒアリング、OD調査取得（始発～終発）</li> <li>・4か所（日向市駅、道の駅とうごう、日向病院、イオンタウン日向等より選定）×1人×1日=4人</li> </ul>
	日豊本線	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日向市駅、財光寺駅、南日向駅、美々津駅（平日1日）</li> <li>・調査員が駅利用者に対し直接ヒアリング（7：00～18：00）</li> <li>・4地点×1人×1日=4人</li> </ul>
調査項目		<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者属性（性別、年齢）、利用OD、利用特性（目的、頻度）</li> <li>・運行サービスに対する満足度（便数、運行時間帯、行き先、運賃等）</li> <li>・改善して欲しいサービス（行き先、運行日、運行本数等）</li> <li>・観光二次交通の利用の可能性</li> </ul>

## ③交通事業者アンケート調査

	調査方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前に調査票を送付し、郵送回収（後日ヒアリング）</li> <li>※運行管理者運転士や指導運転士等</li> </ul>
調査項目	[日豊本線] JR九州 [高速バス] ハッコートラベル	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の特性や運行上の問題点</li> <li>・経営上の問題点（利用者減少、新型コロナ対策）</li> <li>・利用促進策や観光施策の取組み</li> <li>・路線バスや市民バスに関する意見・要望</li> </ul>
	[路線バス・市民バス] 宮崎交通 日向交通協同組合 宮交タクシー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の特性（路線別）</li> <li>・経営上の問題点（利用者減少、新型コロナ対策）</li> <li>・運行上の問題点（人手不足、車両更新に向けた課題・意向）</li> <li>・バス利用者等から寄せられている声</li> <li>・これまでの取組状況</li> <li>・乗合バス・タクシーの利用状況、今後の展望・改善点</li> <li>・路線の再編に対する考え方、当面考えている利用促進策</li> </ul>
	[タクシー] 宮交タクシー 上日向タクシー 柳田タクシー ひまわりタクシー 宮児タクシー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の特性</li> <li>・経営上の問題点（利用者減少、新型コロナ対策）</li> <li>・運行上の問題点（人手不足、車両更新に向けた課題・意向）</li> <li>・これまでの取組み状況</li> <li>・運行状況（保有台数、セダン型/ワンボックス型等）、利用特性</li> <li>・買物支援、子育て支援等サービスのニーズ</li> </ul>

④関連事業者アンケート調査

配布対象	・ 主要な医療機関・商業施設・宿泊施設、日向商工会議所、東郷町商工会、社会福祉会議、道の駅等
調査方法	・ 事前に調査票を送付し、後日必要に応じてヒアリング
調査項目	・ 無料送迎等の施設利用者のサービス向上に向けた取組み状況 ・ 観光や商業などまちづくりを取り巻く現状、問題点 ・ 子育て支援、高齢者等移動支援サービスの実態 ・ 公共交通と協力・連携した取組みや事業の可能性

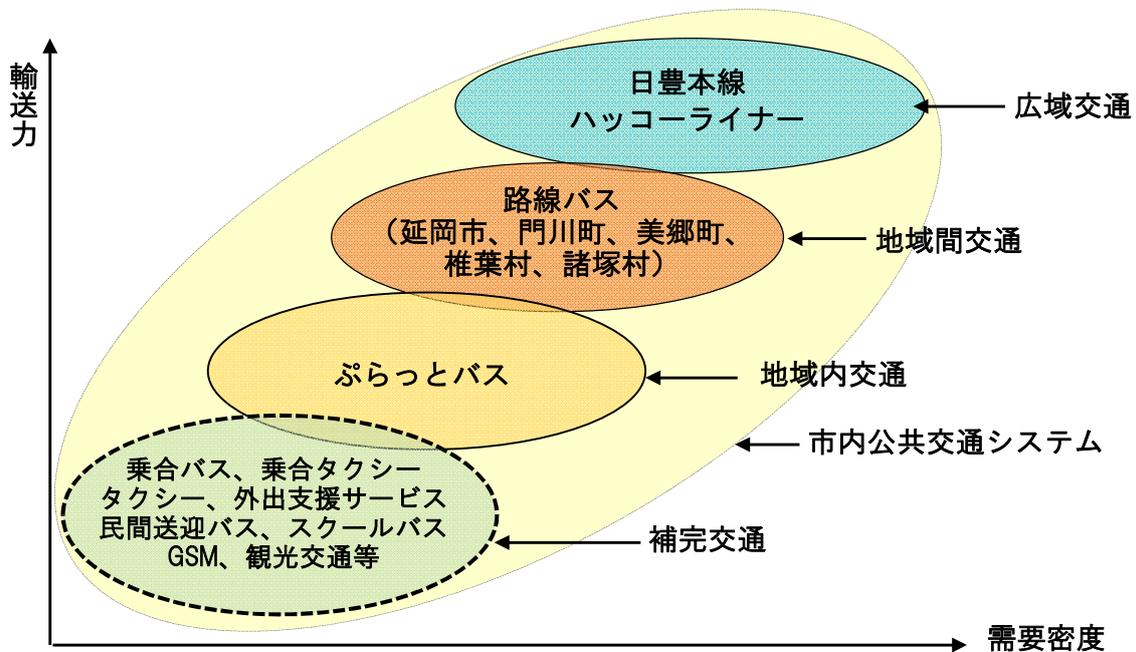
⑤高校生アンケート調査

配布対象	・ 市内3校 ・ 日向高校、富島高校、日向工業高校の1年生
調査方法	・ 教育委員会を通じ学校に協力依頼し、配布・回収（約400票程度）
調査項目	・ 利用者属性（性別、居住地）、通学実態（交通手段、通学時間（部活時含む））、家族等による送迎の負担状況 ・ 路線バス等公共交通の利用有無と、満足度（ルート、ダイヤ、運賃等） ・ 公共交通を利用しない理由、利用するための条件 ・ 晴天時、雨天時における利用交通手段

(3)地域公共交通の役割と課題の整理

現況及び実態調査等の成果を踏まえ、13小学校区別にカルテを作成し地域の実情に応じた具体的な課題の洗い出しを行う。

図 地域内公共交通の役割分担

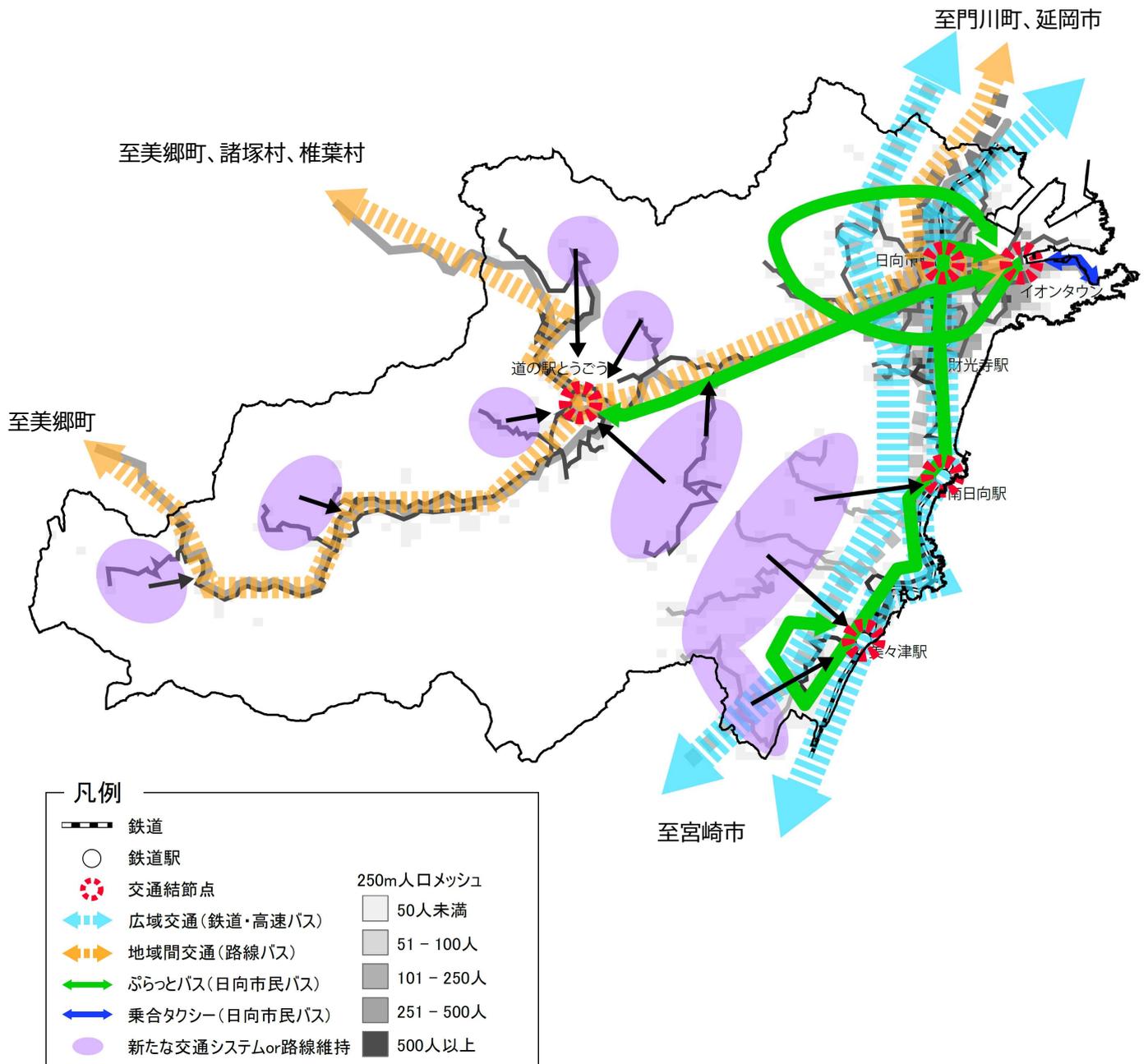


#### (4)地域公共交通に係る基本方針と目標の検討

前項で整理した課題を踏まえ、上位・関連計画との整合性を図りながら、課題解決を図るため基本方針を検討し、その方針に基づく目標及び数値目標を設定する。

また、地域公共交通確保維持改善事業などの助成制度の活用や交通政策基本計画の基本方針にある「誰もが、より快適で容易に移動できる、生活に必要な不可欠な交通の維持・確保」の実現に向けて、本市の地域公共交通の目指すべき姿や方向性を設定する。

図 将来ネットワークイメージ (案)



### (5)目標達成のための施策・事業、資金面の検討・提案

設定した目標を達成するために、具体的な施策・事業の検討・提案を行い、PDCA サイクルによる推進体制、評価の方法及びスケジュールなどを検討する。

### (6)日向市地域公共交通計画(案)の作成

前項までの内容や地域公共交通の活性化及び再生に関する法律の記載事項などを踏まえ、作成する。

### (7)パブリックコメントの実施支援

日向市地域公共交通計画（案）に関して、広く市民の意見を集約する目的でパブリックコメントを実施するための支援を行う。必要な意見に関しては計画に反映する。

### (8)日向市地域公共交通会議の運営支援

現在想定している開催時期は以下の通りである。

	開催時期	議題（案）
第1回	8月25日（木）	・本業務で実施する実態調査について ・策定スケジュールについて
第2回	11月下旬ごろ (21日～24日想定)	・前回の公共交通会議で頂いた意見のフィードバック ・各種調査結果の報告（速報値） ・日向市地域公共交通計画骨子の提示 ・今後のスケジュールについて
第3回	1月下旬ごろ (25日～26日想定)	・前回の公共交通会議で頂いた意見のフィードバック ・日向市地域公共交通計画素案の提示 ・パブリックコメントの実施について ・今後のスケジュールについて
第4回	3月下旬ごろ (15日～16日想定)	・前回の公共交通会議で頂いた意見のフィードバック ・パブリックコメントの結果について ・日向市地域公共交通計画書原案の提示